

提供日 2018/7/4

タイトル 静岡県立大学における管理下でない放射性物質の発見について

担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

放射線安全委員会委員長 武田厚司

発信担当者 054-264-5733



静岡県立大学記者提供資料

静岡県立大学における管理下でない放射性物質の発見について

静岡県立大学において、放射線障害防止法に基づく使用手続きを受けていない放射性物質と疑われる試料が、薬学部棟の放射線管理区域外で発見されました。放射線量を調査したところ放射性物質が検出されたため、現在は放射線管理区域の保管室で保管しています。

なお、発見された放射性物質による学生及び教職員への放射線障害のおそれ及び外部への放射性物質の影響はありません。

今後、学内再点検を行い、再発防止に全学で取り組みます。

1 概要

(1) 経過

<平成 30 年 6 月 28 日>

- ・ 薬学部棟の研究室で試料の整理中に、放射性物質が疑われる試料を発見
- ・ 放射線管理区域の静岡県立大学アイソトープセンターへ移管
- ・ アイソトープセンターにて放射線量を測定し、放射性物質であることを確認

<平成 30 年 6 月 29 日>

- ・ 同研究室内から新たに放射性物質が疑われる試料を発見し、前日同様アイソトープセンターへ移管し、放射線量を測定した結果、放射性物質であることを確認
- ・ 発見場所と周囲の汚染の有無について調査し、汚染の無いことを確認
- ・ 放射線障害防止法に基づき原子力規制委員会へ第一報を報告

(2) 発見場所

静岡県立大学薬学部棟研究室内冷凍庫

(3) 発見された放射性物質

- ・ ^3H (トリチウム) 化合物 1 本 放射線量 243.2 kBq
- ・ ^{14}C (炭素 14) 化合物 18 本 放射線量 3.5~3700 kBq 合計 9684.1 kBq

※ 発見時、冷凍庫中のステンレス製缶内に保管されており、缶や瓶に破損が見られないこと、また、表面線量率がバックグラウンドレベル(検出限界以下)であることから、発見された放射性物質による学生及び教職員への放射線障害のおそれ及び外部への放射性物質の影響はありません。

2 再発防止策等

今回、発見された放射性物質は、貼付ラベルから約 40 年~50 年前の静岡薬科大学時代に購入したものと推測されますが、台帳上引き継がれておらず、今回の発見時まで試料自体の存在が確認されていませんでした。

今後、速やかに放射性物質を含む化学物質等の学内再点検を行い、再発防止を図るとともに、全学で安全管理を徹底します。

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています。 [送信 2 枚]

<学長コメント>

このたび、静岡県立大学において、放射線管理区域外で放射性物質が発見されました。発見された放射性物質による人体への健康被害のおそれはありませんが、このような事態が発生し、在学生及び地域住民、関係者の皆様に御心配と御迷惑をお掛けしましたことを心より深くお詫び申し上げます。

今後は、学内再点検を実施し、法令に則った管理の徹底に、全学を挙げて取り組んでまいります。

平成 30 年 7 月 4 日
静岡県立大学 学長 鬼頭 宏

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 放射線安全委員会
委員長 武田厚司
電話 054-264-5733